

第1章 保健福祉局の組織・予算・計画

第1節 保健福祉局の組織（令和6（2024）年4月1日現在）

保健福祉局

総務部	総務課	〔係：庶務、経理、（582-2403）、法人指導（582-2448） オンブズパーソン事務局（582-2077）、社会振興、計画（582-2497）〕
地域共生 社会推進部	地域福祉推進課	〔係：地域福祉推進、地域支援〕（582-2060）
	認知症支援・介護予防課	〔係：情報、調整、認知症対策推進（582-2063）、 地域活動推進（522-8765）〕
	保護課	〔係：管理、保護、指導〕（582-2445）
長寿推進部	長寿社会対策課	〔係：企画調整、在宅高齢者支援、生涯現役推進〕（582-2407）
	介護保険課	〔係：企画管理、保険、居宅サービス、施設サービス、 事業者支援、介護保険事業者指導（582-2771）、認定審査（522-8718）〕
	保険年金課	〔係：管理、保険〕（582-2415）
先進的介護 システム推進室		（582-2712）
障害福祉部	障害福祉企画課	〔係：企画調整、共生社会推進（582-2453）、障害者就労支援（582-2986）〕
	障害者支援課	〔係：障害福祉施設、障害福祉サービス、地域生活支援、指定指導、 事業者支援〕（582-2424）
	精神保健・地域移行推進課	〔係：事業調整、精神保健〕（582-2439）
健康医療部	地域医療課	〔係：地域医療、医務業務〕（582-2678）
	健康推進課	〔係：健康づくり推進、健診〕（582-2018）
	健康危機管理課	〔係：政策調整〕（582-2430）
	夜間・休日急患センター	（522-9999）
	第2夜間・休日急患センター	（641-3104）
保健衛生部	保健衛生課	〔係：環境衛生、食品衛生、東部斎場〕（582-2435）
	動物愛護センター	（581-1800）
	食肉センター	〔係：管理、検査第一、検査第二〕（521-0172）
保健所	保健企画課	〔係：企画調整（522-5721）、公害保健（522-8722）〕※
	医務薬務課	〔係：医務、放射線、薬務〕（522-8726）※
	保健予防課	〔係：予防、感染症保健〕（522-8764）※
	地域リハビリテーション推進課	〔係：障害者福祉、障害認定、 リハビリテーション推進〕（522-8724）
	精神保健福祉センター	〔係：管理、技術支援、いのちとこころの支援〕（522-8729）
	難病相談支援センター	〔係：企画調整〕（522-8763）
	東部生活衛生課	〔係：環境衛生、食品衛生第一、食品衛生第二、広域食品指導〕（522-8728）※
	西部生活衛生課	〔係：環境衛生（622-4614）、食品衛生第一、食品衛生第二（642-1818）〕※
保健環境研究所		〔係：管理〕（882-0333）
人権推進センター	人権文化推進課	〔係：企画調整、啓発推進〕（562-5010）
	同和対策課	〔係：管理、事業〕（583-7361）
	地域交流センター	〔9館〕

（ ）は各課の電話番号

第2節 令和5(2023)年度決算

【歳入 一般会計】 ※各款とも保健福祉局所管分

(単位:千円)

款	予算現額 A	収入済額 B	予算現額と収入済額 との比較(B-A)
16 分担金及び負担金	1,141,734	1,122,189	△ 19,545
17 使用料及び手数料	890,339	811,344	△ 78,995
18 国庫支出金	91,662,374	82,525,144	△ 9,137,230
19 県支出金	18,541,777	17,522,839	△ 1,018,938
20 財産収入	131,760	132,376	616
21 寄附金	65,929	67,370	1,441
22 繰入金	53,262	1,000	△ 52,262
24 諸収入	1,150,830	1,784,162	633,332
25 市債	956,700	620,900	△ 335,800
合計	114,594,705	104,587,324	△ 10,007,381
市全体	671,490,847	610,070,644	△ 61,420,203

【歳入 特別会計】 ※特別会計には病院事業(企業会計)は含まない

	予算現額 A	収入済額 B	予算現額と収入済額 との比較(B-A)
国民健康保険	100,709,216	99,900,147	△ 809,069
食肉センター	375,526	359,226	△ 16,300
介護保険	112,725,473	109,851,744	△ 2,873,729
後期高齢者医療	18,266,165	17,496,925	△ 769,240
市立病院機構 病院事業債管理	5,470,400	4,684,027	△ 786,373
合計	237,546,780	232,292,069	△ 5,254,711

総計	予算現額 A	収入済額 B	予算現額と収入済額 との比較(B-A)
保健福祉局 総計	352,141,485	336,879,393	△ 15,262,092
市全体	1,101,785,710	1,031,682,632	△ 70,103,078

【歳出 一般会計】 ※各款とも保健福祉局所管分のみ

(単位:千円、%)

	予算現額	支出済額	執行率	翌年度繰越額	不用額
2款 総務費	10,000	4,118	41.2	0	5,882
3款 保健福祉費	205,609,454	192,154,983	93.5	4,142,822	9,311,649
6款 労働費	55,613	55,107	99.1	0	506
合計	205,675,067	192,214,208	93.5	4,142,822	9,318,037
市全体	671,490,847	607,012,928	90.4	19,991,765	44,486,154

○一般会計のうち不用額の主なもの

事業名	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
生活保護費	44,600,000	41,072,822	0	3,527,178
新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業	6,722,000	4,490,270	1,068,600	1,163,130
保健福祉職員費	9,422,265	8,901,608	0	520,657
介護保険特別会計繰出金	17,218,719	16,803,127	0	415,592
電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金事業	17,839,399	15,742,410	1,699,175	397,814

- ・生活保護費については被保護人員等が見込を下回ったため。
- ・ワクチン接種者が想定を下回ったことに伴い、接種費用(医師等の人件費)や関連経費等が減少したため。
- ・職員費については新型コロナ感染症対応の規模が見込を下回ったことに伴い職員配置数が減少したため。
- ・介護保険特別会計繰出金については予備費の未執行及び認定調査費等の執行減に伴う事務費繰入金が減少したため。
- ・電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金の支給決定世帯数が見込を下回ったため。

【歳出 特別会計】 ※特別会計には病院事業(企業会計)は含まない

	予算現額	支出済額	執行率	翌年度繰越額	不用額
国民健康保険	100,709,216	98,864,905	98.2	0	1,844,311
食肉センター	375,526	347,312	92.5	0	28,214
介護保険	112,725,473	105,817,708	93.9	0	6,907,765
後期高齢者医療	18,266,165	16,974,288	92.9	0	1,291,877
市立病院機構病院事業債管理	5,470,400	4,684,027	85.6	0	786,373
合計	237,546,780	226,688,240	95.4	0	10,858,540

○特別会計の収支

	歳入	歳出	収支
国民健康保険	99,900,147	98,864,905	1,035,242
食肉センター	359,226	347,312	11,914
介護保険	109,851,744	105,817,708	4,034,036
後期高齢者医療	17,496,925	16,974,288	522,637
市立病院機構病院事業債管理	4,684,027	4,684,027	0

【総計】

	予算現額	支出済額	執行率	翌年度繰越額	不用額
保健福祉局	443,221,847	418,902,448	94.5	4,142,822	20,176,577
市全体	1,101,785,710	1,016,098,431	92.2	22,149,751	63,537,528

【病院事業会計】

(単位:千円、税込)

区 分		予算現額(A)	決算額(B)	増減 (B)－(A)
収 益 の 収 支	病院事業収益	314,258	246,569	△ 67,689
	病院事業費	454,768	391,834	△ 62,934
	当年度純利益(△純損失)	△ 140,510	△ 145,265	△ 4,755
資 本 の 収 支	病院事業資本の収入	353,532	351,736	△ 1,796
	病院事業資本の支出	353,632	351,789	△ 1,843
	差 引 不 足 額	△ 100	△ 53	47
補 て ん 財 源	内部留保金	146,279	145,263	△ 1,016
	利益剰余金	△ 140,510	△ 145,265	△ 4,755
	前年度繰越留保資金等	0	0	0
	翌年度繰越留保資金等	0	0	0
	計	5,769	△ 2	△ 5,771
単年度実質収支		5,669	△ 55	△ 5,724
年度末資金剰余		55,673	49,950	△ 5,723

令和5(2023)年度主要施策の成果（重点事項）

令和5(2023)年度は、交流機会の減少や運動不足といった、コロナ禍の影響からの回復を図りつつ、市民主体の健康づくりや介護予防、認知症支援の取り組みをより一層推進し、健康で長生きできる共生のまちづくりを目指しました。

また、令和4(2022)年度に引き続き、社会的孤独・孤立対策や、生活困窮問題など、喫緊の課題である地域福祉の再構築に取り組むとともに、障害のある人の地域生活を支援する施策の推進等により、安全・安心な住みよいまちづくりに向けた取り組みを推進しました。

1 健康づくりの推進、疾病の予防

- (1) **新規** 健康寿命の延伸に向けたオーラルヘルスケア関連事業 4,643 千円

- 新規** 歯周病予防推進事業 1,913 千円

健康で質の高い生活を営むうえで、口腔の健康の保持・増進が重要な役割を果たすことから、歯周病検診の受診促進に向け自己負担額を減額し、歯周病予防を推進しました。

- 新規** 働く世代のオーラルヘルス推進事業 2,730 千円

生涯を通じた切れ目のない歯科口腔保健の推進に向け、30歳の市民（希望者）に対して、歯周病簡易検査や、歯・口腔の健康状態及び歯科健診等に対する意識調査を行いました。

- (2) **新規** 健康リテラシー向上事業 2,500 千円

市民一人ひとりが健康に関する正しい情報を取り入れ、理解し、活用することができるよう、健康に関する各種講演会等を開催しました。

- (3) **新規** 健康で持続可能な社会を目指す健康づくりプランの策定 3,509 千円

有識者・市民や関係者で構成する懇話会を開催し、幅広い意見を聞きながら次期健康づくり推進プラン及び食育推進計画を策定しました。

2 市民に寄り添う住みよいまちづくりの推進

- (1) 生涯安心して暮らせる社会に向けた（次期）高齢者プランの策定 2,441 千円

有識者、関係者や市民から幅広い意見を聞きながら、保健・医療・福祉などの高齢者施策を総合的に推進するための次期計画「北九州市しあわせ長寿プラン」を策定しました。

- (2) **新規** 認知症にやさしいまちづくり事業 755 千円

認知症の人やその家族の今後の生活や認知症に関する不安の軽減を目的として、認知症の人にもやさしいデザインの知識や理解を広め、暮らしやすい環境づくりを広める取り組みを実施しました。

- (3) **新規** 在宅医療普及啓発事業 7,361 千円

在宅医療の理解と普及を促進するため、現状の調査・分析や講習会など、理解・知識を深める取組を実施しました。

(4) **拡充** 「みらいつなぐ」介護のしごと魅力発信事業 6,589 千円

介護人材の確保・定着、職場環境の改善を図るため、介護事業所経営者等のマネジメント力向上を支援するセミナーを開催したほか、介護職に対する認知度の向上やイメージアップに向けて WEB サイト（介護のみらいをつなぐ北九州）を作成しました。

さらに、多様な人材の参入促進を図るため「北九州ゆめみらいワーク 2023」に出展するとともに、介護人材確保・定着に向けたワークショップの開催とロードマップの作成を実施しました。

(5) **拡充** 先進的介護「北九州モデル」推進事業 52,413 千円

介護現場の働き方改革を推進するため、ICT・介護ロボット等を活用した「北九州モデル」の導入支援を行いました。さらに、人材育成や機器開発支援のほか、介護助手活用の仕組みづくりに向けた調査を行いました。

(6) **新規** 共生社会の実現に向けた「(次期)障害者支援計画」の策定 2,637 千円

障害のある人の自立及び社会参加の支援等を推進するため、有識者、障害者団体、障害のある人、障害福祉サービス事業者などで構成された障害者施策推進協議会の幅広い意見を聞きながら、障害者支援計画の次期計画を策定しました。

(7) **新規** 障害者意思決定支援推進事業 2,200 千円

障害のある人が自らの意思で自分らしく地域生活を営むことができるよう、意思決定を支える環境の整備を図るため、意思決定支援の普及啓発、支援者の養成、モデル支援の研究・実施、支援者ネットワークの構築等に取り組みしました。

(8) **新規** 重層的支援体制整備への移行準備事業 11,001 千円

孤独・孤立の問題の解消に資する、人と人との「つながり」を実感できる社会環境づくりを目指し、当事者の複合的な課題を包括的に支える重層的支援体制整備事業の活用に向けた移行準備事業を実施しました。

(9) **拡充** 家計改善支援事業の強化 26,707 千円

物価高騰の影響等により経済的に困窮している世帯を支援するため、相談体制を強化し、家計管理に関する相談や指導、ひとり親家庭向けセミナー等の家計改善支援事業を実施しました。

(10) **拡充** 自殺対策強化事業 5,583 千円

本市における自殺の現状や地域特性などを踏まえ、関係機関と連携しながら、心の健康づくりに関する普及啓発、地域におけるゲートキーパー養成研修の実施など、総合的な自殺対策を推進しました。

3 ウイズコロナ・ポストコロナへの対応

(1) 福祉施設等に対する検査支援事業 156,109 千円

集団感染リスクのある高齢者施設及び障害者施設の従事者や入所者を対象に、抗原検査キットを配布し、集団感染発生の防止を図りました。

(2) 感染症対策事業 101,797 千円

新型コロナウイルス感染症患者の入院治療費の患者負担相当額（保険適用後）を公費で負担しました。

(3) 保健所機能強化事業 285,050 千円

新型コロナウイルス感染症にかかる相談対応や患者搬送、健康観察など保健所が担っている様々な業務のアウトソーシングを進めるなど、保健所業務の効率化及び体制の強化を図りました。

(4) 新型コロナウイルス感染症患者への自宅療養支援事業 50,981 千円

新型コロナウイルス感染症の自宅療養者に対し、食料品等の支援を行うとともに、自宅療養者へのオンライン診療・往診等の医療提供体制を整備し、体調が変化した方や悪化リスクの高い方に対して医療従事者の派遣等医療支援を行いました。

(5) 新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業 4,490,270 千円

新型コロナウイルス感染症の重症化予防等を図るため、令和5年春開始接種及び秋開始接種を実施し、集団接種や個別接種など様々な接種体制の確保により、接種を希望する多くの市民への接種を迅速かつ円滑に実施しました。

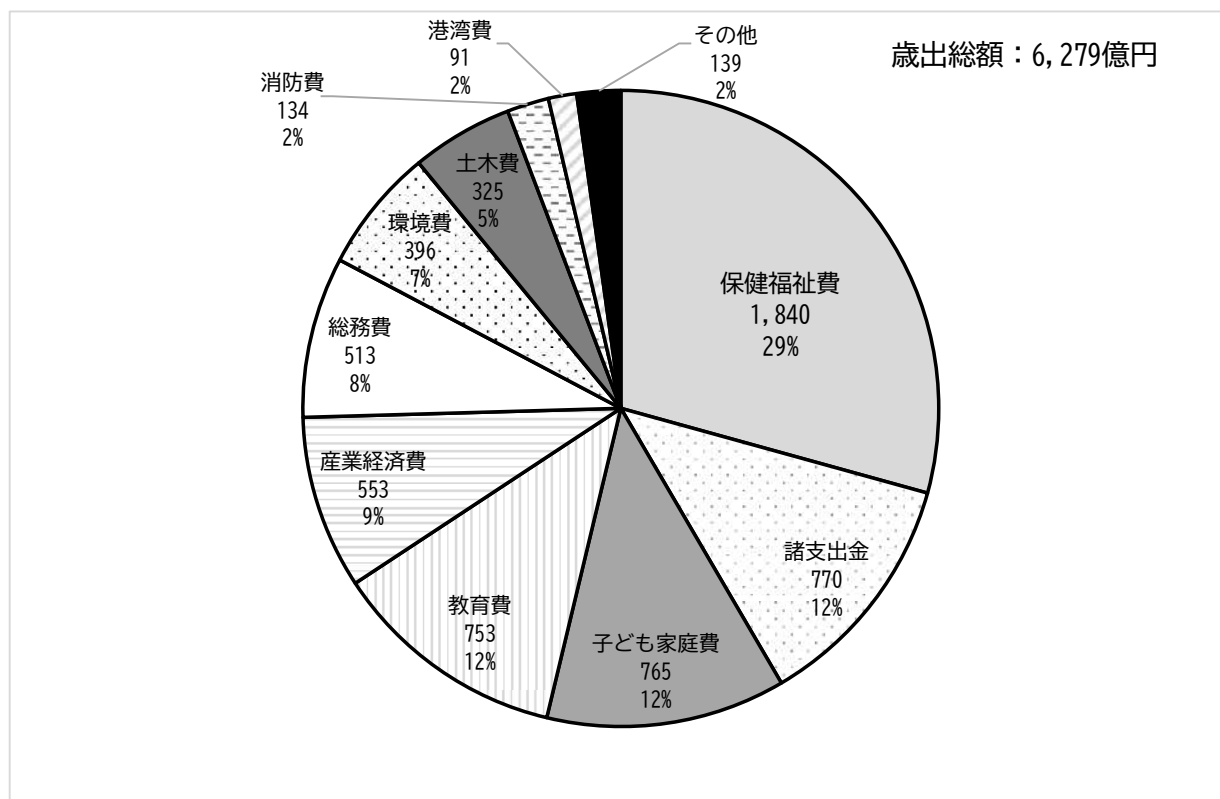
(6) 生活困窮者自立支援事業（新型コロナ対応） 49,537 千円

新型コロナウイルス感染症や物価高騰等の影響により経済的に困窮する世帯に対して、相談体制の強化や住居確保給付金の支給などの支援を実施しました。

第3節 令和6(2024)年度予算

◆令和6(2024)年度当初予算（市一般会計）

【単位：億円】



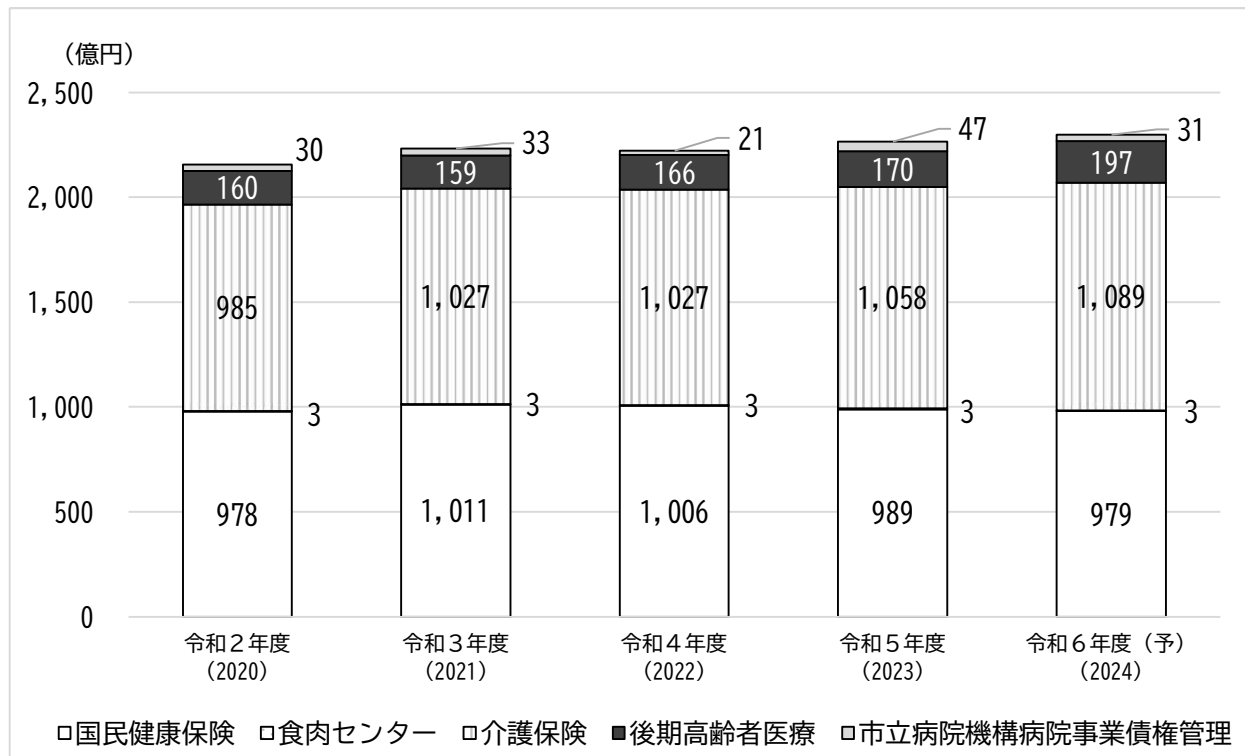
◆令和6(2024)年度 保健福祉関係費の内訳（保健福祉局所管分）

【単位：千円】

	令和6年度 (A)	令和5年度 (B)	比較 (A) - (B)
市一般会計	627,883,000	609,161,000	18,722,000
保健福祉費	176,941,722	181,975,756	△5,034,034
職員費	9,152,202	9,446,786	△294,584
繰出金	33,387,711	33,302,279	85,432
民生関係費	123,283,759	123,653,999	△370,240
高齢者福祉費	19,078,630	18,930,305	148,325
障害者福祉費	56,216,821	52,861,424	3,355,397
生活保護費	43,000,000	44,600,000	△1,600,000
その他	4,988,308	7,262,270	△2,273,962
保健衛生関係費	11,118,050	15,572,692	△4,454,642
総務費	0	10,000	△10,000
労働費	58,495	55,613	2,882

※令和6・5年度とも当初予算額

◆保健福祉局関係の特別会計の推移



※令和2(2020)～令和5(2023)年度は決算額、令和6(2024)年度は予算額。

◆保健福祉局関連予算（全会計）

（単位：千円）

款 別	令和6年度 当初予算	令和5年度 当初予算	対前年度 増減額
一般会計	177,000,217	182,041,369	▲ 5,041,152
国民健康保険 特別会計	97,870,000	100,422,000	▲ 2,552,000
介護保険 特別会計	108,879,000	109,286,000	▲ 407,000
後期高齢者医療 特別会計	19,661,000	18,260,000	1,401,000
食肉センター 特別会計	362,000	341,000	21,000
市立病院機構病院事業債管理 特別会計	3,103,600	5,470,400	▲ 2,366,800
病院事業(企業会計)	846,870	808,400	38,470
保健福祉局 総計	407,722,687	416,629,169	▲ 8,906,482

新規

働く世代の健康づくり関連事業

【8百万円】

関係機関との連携を通じて就労世代の健康課題解決に向けた効率的な方法を検討するほか、オーラルヘルスと高血圧の分野において、新たな取組みを進める。

新規

働く世代の健康づくり地域・職域連携推進事業（再掲）

【2百万円】

生涯を通じた継続的な保健サービスの提供体制を推進

- ・「地域保健」と「職域保健」を担う各種団体で協議体を設置
- ・それぞれの健康課題や取組みを共有、市内企業における健康づくりの現状・ニーズ実態調査を実施

拡充

働く世代のオーラルヘルス推進事業

【4百万円】

生涯を通じた切れ目のない歯科口腔保健の推進に向け、若い就労世代の歯周病予防を推進するとともに、かかりつけ歯科医の定着促進を図るため、歯周病検診の対象者に30歳を新たに追加して実施する。



歯周病検診 対象者

30 歳 を新たに追加！

※現在は、40歳、50歳、60歳、70歳が対象

新規

高血圧重症化予防実証事業

【2百万円】

就労世代や若い世代など保健指導等でアプローチが難しい層における高血圧の重症化予防策として、アプリを活用した血圧管理や健康学習、受診勧奨の有効性を検証する。



血圧が高いけど、忙しくて、なかなか保健指導を受けられない



スマホアプリで、血圧管理

II 地域福祉・高齢者福祉の推進

彩りあるまち

安らぐまち

継続

認知症にやさしいデザイン普及啓発事業

【2百万円】

認知症の人とその家族の生活や認知症に関する不安の軽減を図り、暮らしやすい環境づくりを推進するため、認知症にやさしいデザインの導入事例などの周知啓発を行う。

「認知症にやさしいデザイン」の導入事例を収集し、広く周知啓発を行う。

①内容企画検討

②導入事例収集

③啓発ツール作成

④広報（HP掲載等）

例えば「トイレ」では、認知症にやさしいデザインを取り入れることで、以下のような認知症の人にとっての課題を解決することができる。



- ・同じ色だと見えにくい
- ・便座の場所がわからない



- ・明確なコントラストをつけることでトイレでの失敗を予防

彩りあるまち

安らぐまち

新規

地域の人材創出検討事業

～地域のウェルビーイング人材育成に向けて～

【3百万円】

地域共生社会づくりの基盤となる、地域社会の創り手を担う高齢者リーダー「地域のウェルビーイング人材」を育むため、年長者研修大学校等のあり方を見直すための検討会や、高齢者の活躍を推進する市民意識を醸成するシンポジウムを開催する。

現行の地域人材育成に係る事業

- ・各事業を各部局等で個別に実施
- ・連携した地域活動人材の育成が急務

- ・周望学舎
- ・穴生学舎
- ・穴生ドーム
- ・生涯現役夢追塾

〔地域包括ケアシステムを担う〕 地域の人材創出検討事業

- ・人材育成に係る各事業の方向性や見直しを検討
- ・地域活動に係る意識の醸成

あり方の見直し検討会

（仮称）プラチナサミット

他部局事業との連携も検討

- ・ボランティア市民活動センター
- ・ボランティア大学校
- ・生涯学習センター
- ・市民センター

地域で活躍する
地域人材

新規 新たなつながりによる支え合い(ソーシャルキャピタル)創出事業【3百万円】

地域活動の担い手が減少する中、若い世代やNPO団体などと地域活動との橋渡しを行い、社会全体の新たな形でのつながり(ソーシャルキャピタル)を創出する。

【若い世代】	【潜在的人材】	【NPOと地域団体】
①オンラインコミュニケーションでつながりを創出 - 大学生を中心としたZ世代の若者に、オンライン上のゆるやかなつながりによるコミュニティ活動を体験 - コミュニティの運営を若者自身が担い、困り事や悩み、生活情報などを気軽に相談したり情報交換できる仕組みの構築 	②つながりづくり講演会 - 人と人とのつながりや支え合いの重要性を啓発するための講演会 - 事例発表を通じた地域団体とNPO団体等の出会いの場づくり 	③新たなつながりの創出 - まち協・校区社協などの地域団体とNPO団体などが出会う交流会の開催 - 地域が抱える福祉課題を解決するモデル事業の実施 

【目指すこと】
人と人がゆるやかにつながっている



★将来的な地域活動人材も育成★



拡充 介護のミライを支える人材創出・就労支援事業

【8百万円】

介護のしごとに対するネガティブイメージを払拭し、介護職に対する認知度の向上やイメージアップにつながる情報を発信することで、多様な人材の参入を促進する。

また、外国人介護人材の介護福祉士の資格取得やスキルの向上を支援し、介護の質の向上を図るとともに、介護分野への外国人の就労・定着を促進する。

介護のしごとに対するイメージが悪く職業として選択されにくい

介護の現状や魅力を発信することで、認知度が向上

介護職を正しく理解してもらうことでイメージアップ
多様な人材の参入促進を図る！！

継続

先進的介護「北九州モデル」推進事業

【57百万円】

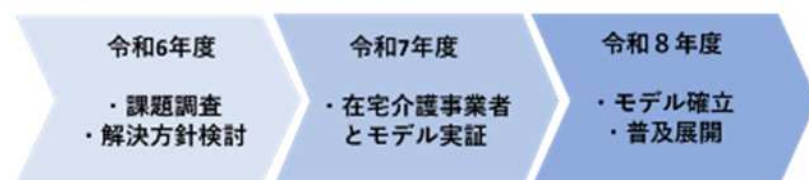
介護の生産性を高め、人材不足に対応するため、介護ロボット・ICT等を活用した先進的介護「北九州モデル」の普及促進及び深化・拡充に取り組むとともに、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、在宅版「北九州モデル」の構築を推進する。

○ テクノロジーを活用した介護現場の新たな働き方「北九州モデル」



○ 在宅版「北九州モデル」の構築

在宅高齢者や在宅介護サービス事業者の課題の分析
ICTや介護ロボットなどのテクノロジーを活用した解決策の構築



III 障害福祉の推進

安らくまち

新規 総合療育センター外来待機期間改善事業

【6百万円】

発達障害に係る診断希望が集中している外来の心理スタッフを増員し、待機期間を改善する。

全国的に発達障害の(疑いの)ある子供が増加

初診までの待機期間短縮のため、
心理部門(就学前)の初診枠を拡大
(1週あたり **4** 枠 ⇒ **5** 枠)



IV 保健・衛生管理体制の充実

安らくまち

新規 感染症対応力向上事業

【4百万円】

次の健康危機に備えて感染症対応力向上を図るため、新型コロナ対応における課題を踏まえ、平時から、施設等における感染防止対策や専門職等を対象とした実践型訓練・研修を実施する。

施設等における感染防止対策



施設へのオンラインによる点検の様子

専門職等を対象とした実践型訓練・研修



感染症疑い患者搬送等訓練の様子

×

▶ 感染症対応力向上!!

新規 保護犬ねこ不妊去勢サポート事業

安らくまち

【3百万円】

飼い主のいない猫の個体数の抑制や保護した犬猫を譲渡する際には、不妊去勢手術が有効な手段であることから、動物愛護団体等が負担している不妊去勢手術の費用を助成する。

新規

ICTを活用した地域の見守り力強化事業

【3百万円】

タブレット端末などのICTを活用し、定例会議のオンライン化や情報共有などを図ることで、仕事をしながらでも民生委員・児童委員活動がしやすい環境を整備する。

- 地域の見守りの担い手である民生委員・児童委員の高齢化が進んでいる。

(約1,500人のうち60歳代以上が3/4を占める)

- 「会議や行事への参加」や「委員同士の連絡調整」など見守り活動以外の業務が負担となっている。

- 効果を検証しながら導入を進めることで、民生委員の負担軽減や担い手の増加を図り、地域の見守り力の向上へつなげていく。



令和6年度

- ・各区の会長会議や主任児童委員部会等で使用
- ・約50台をモデル導入

令和7年度以降

- ・効果検証
- ・順次導入し、市内133地区会長等へ拡大

令和6年度の取組

① タブレット端末等を配布



丁寧な操作研修を予定

<メリット>

- 会議の負担軽減
- 紙資料の削減
- タイムリーな情報共有
- アプリを活用した委員同士の相談や連絡が可能

② 集合会議 ⇒ オンライン会議に



③ 資料のペーパーレス化・迅速な情報共有



第4節

保健福祉分野別計画策定推移

	H21 2009 年度	H22 2010 年度	H23 2011 年度	H24 2012 年度	H25 2013 年度	H26 2014 年度	H27 2015 年度	H28 2016 年度	H29 2017 年度	H30 2018 年度	R1 2019 年度	R2 2020 年度	R3 2021 年度	R4 2022 年度	R5 2023 年度	R6 2024 年度	R7 2025 年度	R8 2026 年度	R9 2027 年度	R10 2028 年度	R11 2029 年度
基本構想・ 基本計画	「元気発進！北九州」プラン (H20.12～、基本計画はR2年度まで)															新たなビジョン 目標年次：R22（2040）年					
地域福祉	健康福祉 北九州 総合計画	北九州市の地域福祉2011～2020 ⇨ 中間見直し強化プラン								北九州市の地域福祉 2021～2025											
高齢者 支援	第二次高齢者 支援計画	第三次高齢者 支援計画	第四次高齢者 支援計画		いきいき長寿 プラン		第2次いきいき 長寿プラン		成年後見制 利用促進 計画				しあわせ長寿 プラン								
			オレンジプラン		オレンジプラン 改訂版																
障害者 支援	障害者支援計画 (H18年度～)	障害者支援計画 ⇒H27～【拡充 版】		(第3期) 障害福祉計画		(第4期) 障害福祉計画		障害者支援計画⇒R3～【改訂版】		(第5期) 障害福祉計画 (第1期) 障害児福祉計画		(第6期) 障害福祉計画 (第2期) 障害児福祉計画		(第7期) 障害福祉計画 (第3期) 障害児福祉計画							
	障害者支援計画 実施計画 【拡充版】 (第2期) 障害福祉計画																				
健康 づくり	健康福祉北九州 総合計画 (健康づくり部門)		健康づくり推進プラン				第二次健康づくり推進プラン				第三次健康づくり推進プラン										
	特定健康診査等 実施計画（H20～）		第二期 特定健康診査等実施計画				国民健康保険第二期 保健事業実施計画 〈第三期特定健康診査等実施計画 を含む〉				国民健康保険第三期 保健事業実施計画 〈第四期特定健康診査等実施計画 を含む〉										
			国民健康保険 保健事業 実施計画																		
食育	食育推進計画				第二次食育推進計画				第三次食育推進計画				第四次食育推進計画								
自殺対策									自殺対策計画												
									評価・ 見直し (2年ごと)		評価・ 見直し (2年ごと)		評価・ 見直し (2年ごと)		評価・ 見直し (2年ごと)						
健康危機 管理	健康危機管理 計画	健康危機管理計画						健康危機管理計画						健康危機管理計画 (R6年度改定予定)							
																感染症予防計画					
		新型インフルエンザ等対策行動計画 (H25.12～)															新型インフルエンザ等対策 行動計画 (R6年度改定予定)				
食品衛生	食品衛生監視指導計画（年次計画）																				
人権行政	人権・同和行政の基本方針（H14年度～）																				
	人権行政指針（H17年度～）								【改訂版】 人権行政指針		【第2次改訂版】人権行政指針 (R2.10～)										
ホームレ ス支援	新ホームレス自立支援 実施計画				(第3次) ホームレス自立支援実施計画				(第4次) ホームレス自立支援実施計画				(第5次) ホームレス 自立支援実施計画								

※色付きは、令和6（2024）年度から新たに開始する計画（予定含む）